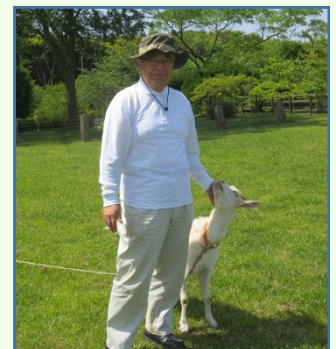


活動分野	森に親しむ野外講座		
タイトル	春の君津の山に養蜂家を訪ねる		
実施日時	平成30年5月15日（火）8時30分～17時		
実施場所	君津市 内山緑地建設（株）「きみつのさんぼ道」		
受講者	28名	FIC会員他スタッフ	5名

### 活動の内容 養蜂家を訪問し、君津の広葉樹の森で働く蜜蜂を観察する

暖かく風も穏やかで最高のミツバチ日和になりました。今回の講座は蜜蜂が蜜を採る蜜源植物と養蜂の現場を観察するというテーマなので、参加者の皆さんには下準備として行きのバスの中で蜜蜂と蜜源植物についてしっかり学んでいただきました。

到着した芝生の広場付近では満開のマユミ、イボタの花でたくさんの蜜蜂が働いている様子が見られました。ユリノキ、トベラ、スタジイなどもこの時期の蜜源植物です。蜜蜂は蜜を吸う口吻が短いので小さな花が大好きです。普段見落としてしまう常緑広葉樹の小さな花イヌツゲにも注目。ヤマザクラの展望台からはスタジイの新緑がムクムクと広がる初夏の広葉樹の森を堪能。森の中はスタジイやトベラの花の香りとそれに群がる虫の羽音で包まれています。お目当てのカラスザンショウもチェックしました。



ヤギのユキちゃんがお出迎



今回訪問した養蜂家の鈴木さんは4年前から君津の森で養蜂を営んでいます。君津の森は広葉樹が広がり、多種多様な蜜源、花粉源があり生活排水や農薬、携帯電話の電波塔などの電磁波もなく養蜂の理想郷だそうです。鈴木さんの作る「カラスザンショウの蜂蜜」は資生堂パーラー本店のデザートにも使われています。最近、杉が伐採された山にカラスザンショウが増え蜜源として注目されているそうです。

午後は鈴木さんのお話と巣箱の観察です。蜜蜂に魅せられた鈴木さんのお話は哲学のようでもありました。そしてこの時期にしか見られない分蜂した蜂の新しい巣作りを見学！たくさんのミツバチが舞う中、恐る恐る近づきましたが・・・それは蜜蜂の羽音に包まれた不思議な至福のひと時でした。蜂達は私達には見向きもしません。ビロードのようなピカピカな金色の蜂たちが一心不乱に巣を作っている様子が間近に見られたのです。機嫌



の良い蜜蜂の羽音はセラピーにもなるとお聞きしましたが、何とも言えない体験でした。

今回は生命力あふれる初夏の君津の広葉樹の森と養蜂の見学、蜜源植物という面から見ていただき、いつもと少し違う「きみつのさんぼ道」を楽しんでいただけたかと思います。

これからは四季折々散歩の際、蜜蜂はどうしているかと気にかけてくださると幸いです。

